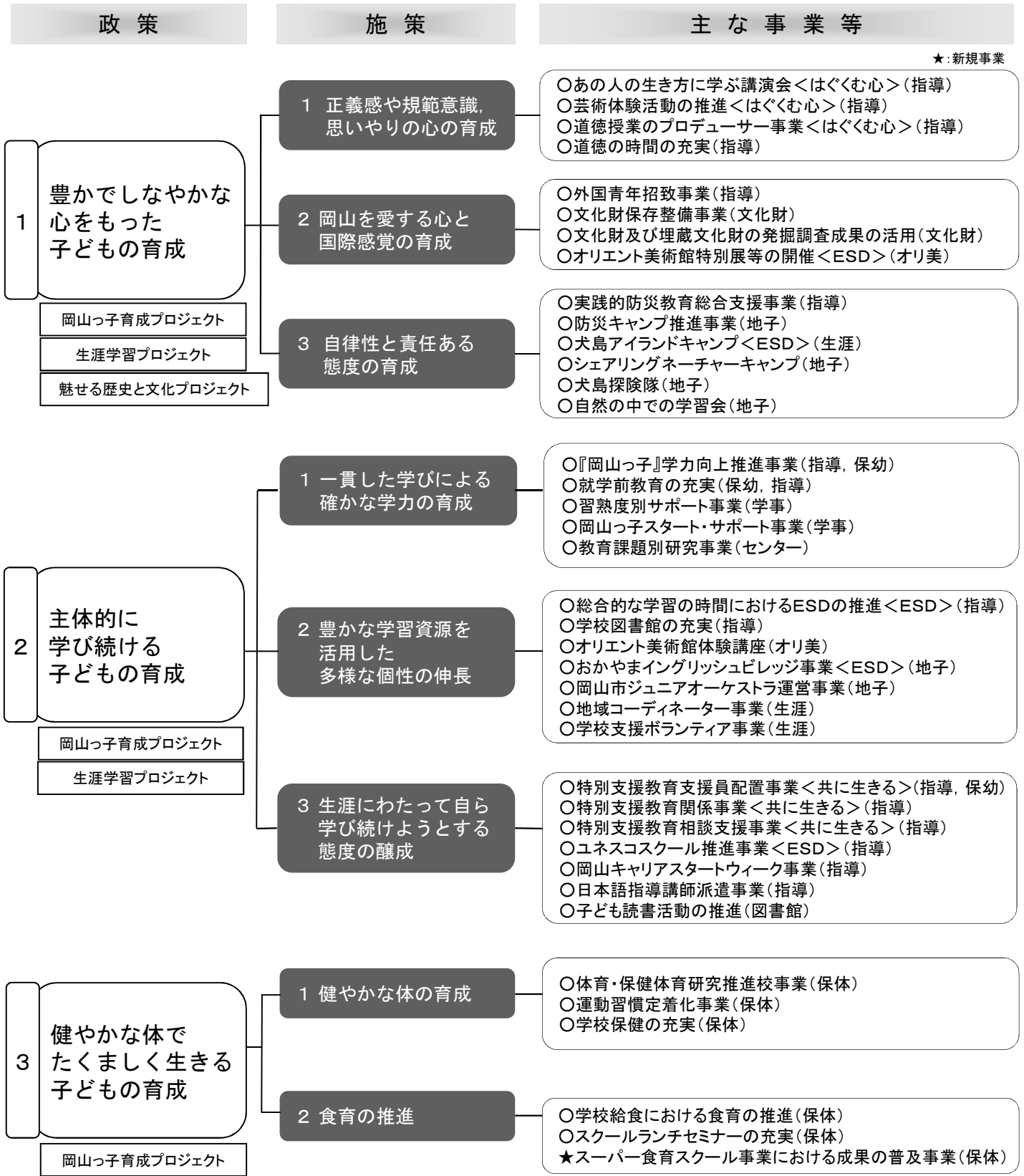


Ⅲ 岡山市教育振興基本計画平成27年度アクションプランにおける主な事業

1 施策・事業体系図



★:新規事業

政策名の下に、岡山市都市ビジョン(新・岡山市総合計画)のプロジェクト名を付し、教育振興基本計画との関連を示しています。

政策	施策	主な事業等
<p>4 建設的な人間関係を築く子どもの育成</p> <p>岡山っ子育てプロジェクト</p>	<p>1 学び合い高め合う建設的な集団づくりの推進</p> <p>2 学校園と家庭・地域社会との協働体制の確立</p>	<p style="text-align: right;">★:新規事業</p> <p>○共に成長し合う学級集団づくり推進事業<ストップ>(指導) ○特別活動の授業改善(指導)</p> <p>○地域協働学校の推進と学校評価の充実(指導) ○スクールカウンセラー配置事業<ストップ>(指導) ○いじめ専門相談員派遣事業<ストップ>(指導) ○不登校児童生徒支援員配置事業<ストップ>(指導) ○問題行動等対策事業<ストップ>(指導) ○教育相談室・適応指導教室整備事業<ストップ>(指導) ○教育相談室・適応指導教室の運営(指導) ○教育広報紙の発行<広がる>(教企) ○教育に関する総合調査<広がる>(教企) ○こらぼミーティング<広がる>(教企)</p>
<p>5 家庭、学校園、地域社会のネットワークを生かした教育環境の充実</p> <p>教育環境づくりプロジェクト</p>	<p>1 家庭における教育力の向上</p> <p>2 地域社会における教育力の向上</p>	<p>○PTAにおける人権教育の充実(指導, 保幼) ○家庭教育支援事業(生涯) ○子育て支援情報の提供(公民館) ○子育て講座の充実(公民館) ○子育て支援「のびのび親子広場」事業(保幼) ○絵本の読み聞かせ事業(図書館)</p> <p>★みんなで集める情報たから箱事業(生涯) ○親子環境学習サマースクール<ESD>(生涯) ○地域の課題に関する資料・情報の提供(図書館) ○公民館ESD活動推進事業<ESD>(公民館) ○子ども対象講座の充実(公民館) ○公民館講座の拡充(公民館) ○子ども会リーダー・育成者研修事業(地子) ○放課後子ども教室推進事業(地子) ○新成人の集い事業(地子) ○わくわく子どもまつり(地子) ○吉備公民館・地域センター整備事業(生涯) ○操山地区公民館建設事業(生涯) ○公民館耐震改修整備事業(公民館)</p>
<p>6 学校園の組織力を生かした教育環境の充実</p> <p>教育環境づくりプロジェクト</p>	<p>1 学校園のマネジメント力の向上</p> <p>2 教職員の資質能力の向上</p> <p>3 安心して心おきなく学べる教育環境づくり</p>	<p>○マネジメント力向上研修(センター) ○学校問題解決サポート事業<ストップ>(指導)</p> <p>○魅力ある教員の確保事業(学事) ○教職員研修事業(センター, 保幼) ○教育研究事業(センター, 保幼) ○学校園における人権教育の充実(指導, 保幼) ○教育ポータルサイト運営事業(指導)</p> <p>○ICTを基盤とする情報活用能力アップ事業(就学) ★学校業務アシスト事業<サポート>(学事) ★部活動サポート事業<サポート>(保体) ○学校園耐震改修整備事業(施設, 保幼) ○校舎等の増改築事業(施設)</p>

< >内は事業群名 はぐくむ心…はぐくむ心・あったかハート事業, 共に生きる…共に生きる子どもを育てる障害児支援事業
ストップ…ストップ・ザ学校問題, 広がる…広がる教育の輪～広報広聴活動の充実事業～
ESD…ESD推進事業, サポート…教職員サポートプロジェクト

()内は担当課 教企…教育企画総務課, 施設…学校施設課, 学事…学事課, 就学…就学課, 指導…指導課
センター…教育研究研修センター, 保体…保健体育課, 生涯…生涯学習課, 図書館…中央図書館
公民館…中央公民館, 文化財…文化財課, オリ美…オリент美術館(以上, 教育委員会事務局)
地子…地域子育て支援課, 保幼…保育・幼児教育課(以上, 岡山っ子育て局)

※ 主な事業等の中には, 学校その他の教育施設が日常的に行っている取組も入っています。

2 主な事業

すべての事業は、本市教育の2つの理念と2つの柱に基づき実施していきます。

2つの理念 「市民協働による自立する子どもの育成」、「人権尊重の理念に基づく教育の推進」

2つの柱 「学びの高まり～岡山型一貫教育」、「学びの広がり～地域協働学校」

(1) クローズアップ

6つの政策15の施策を推進し、教育課題を計画的に解決していくためには、政策・施策ごとの事業の精選・充実はもちろんのこと、政策や施策の枠を超えた横断的かつ重点的な取組も必要です。ここでは、平成27年度の事業の中から、喫緊の教育課題に対して、横断的かつ重点的に取り組む事業を紹介します。

本年度も昨年度に引き続き、「Ⅰ 学力向上への取組の推進」「Ⅱ 学校問題の未然防止・早期解決」「Ⅲ ESDの推進」「Ⅳ 安全・安心の教育環境づくり」の4つのテーマ（教育課題）を設定しました。

Ⅰ 学力向上への取組の推進

学力向上に関する課題を「授業力」「家庭学習」「個別支援」「かかわり」という4つの観点で分類・整理し、それぞれの側面からの課題解決を図っていきます。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策2**及び**政策6**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

Ⅱ 学校問題の未然防止・早期解決

「不登校」や「暴力行為」「いじめ」については、改善の兆しを掴みつつも、十分な解決には至っていません。これまで行ってきた「未然防止」「早期発見・早期対応」「深刻化防止」「調査研究・検証」といった4つの観点からの取組をさらに充実させていく必要があると考えます。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策4**及び**政策6**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

Ⅲ ESDの推進

成功に終わった「ESDに関するユネスコ世界会議サイドイベント」「公民館-CLC国際会議」の成果をいかに継続、普及させていくかが課題と考えます。また、文部科学省から指定を受けて取り組んでいる「食育」の研究実践についても、今後、持続発展的な展開が求められます。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策1～3**及び**政策5**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

Ⅳ 安全・安心の教育環境づくり

耐震化をはじめとした、安心して心おきなく学べる場について、整備の継続及び拡充を図っていく必要があります。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策5**及び**政策6**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

なお、それぞれのテーマの課題解決に向けては、クローズアップ以外の事業も連携させながら横断的な取組を実施していきます。

<岡山市教育振興基本計画政策一覧>

政策1 豊かでしなやかな心をもった子どもの育成

政策2 主体的に学び続ける子どもの育成

政策3 健やかな体でたくましく生きる子どもの育成

政策4 建設的な人間関係を築く子どもの育成

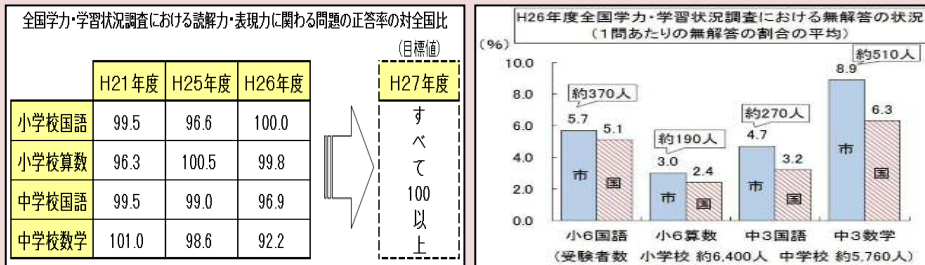
政策5 家庭、学校園、地域社会のネットワークを生かした教育環境の充実

政策6 学校園の組織力を生かした教育環境の充実

I 学力向上への取組の推進

現状と課題

授業力



これまで実施した各種の学力調査から、本市の児童生徒は、自分の考えやその根拠を明確に表現したり、必要な情報を読み解いて的確に示したりする力に課題があることが分かっています。

また、全国と比べて、ほとんどの問題で無解答率(何も解答していない割合)が高いのも本市の大きな課題であり、「読解力・表現力、学ぶ意欲」の向上を目指した授業づくりを徹底することが必要です。

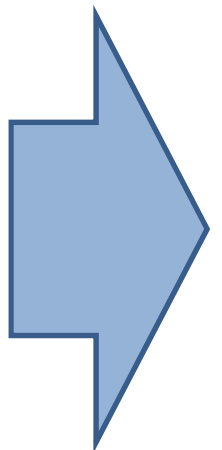
分析に基づいた
取組の改善

家庭学習

質問内容	小学校 H25→H26 (全国平均との比較)	中学校 H25→H26 (全国平均との比較)
家で自分で計画を立てて勉強をしている	56.4%→58.8% (-2.2%)	41.8%→45.5% (-1.1%)
家で学校の宿題をしている	96.7%→97.3% (+0.8%)	86.8%→87.7% (-0.5%)
家で学校の授業の予習をしている	40.7%→40.2% (-3.0%)	30.8%→32.2% (-2.0%)
家で学校の授業の復習をしている	49.9%→51.5% (-2.5%)	38.8%→39.9% (-10.5%)

家庭学習については、「家庭学習の手引き」を作成したり、子どもたちが学習計画表を作成し、自分で学習できるように指導・支援したりしてきたことの結果が見られ、前年度と比べて全体的に改善されてきています。しかし、依然としてほとんどの項目で全国平均を下回っており、本市の課題となっています。

今後も、これまでの取組を続けるとともに、子どもたちの実態を踏まえて、学校・家庭・地域がより連携を図り、宿題の与え方を含めて、子どもたちの家庭での学習環境を整えていくことが必要です。



個別支援

本市では、個に応じたきめ細かな支援など、子どもの主体的な学習活動を支援する環境を充実させています。また、連続性を大切に了一貫した学び(岡山型一貫教育)を目指しており、接続期の指導で効果を上げています。

今後とも、学力の底上げにつながるよう、こうした取組を充実させることが必要です。

質問内容	教職員 (幼小中)
「中学校区内の他校園の教職員との連携を図り、校種間のつながりを大切にしたい教育活動を行っている」	83.0%

出典: H26年度岡山市の教育に関する総合調査

取組を充実させるための

環境整備

かかわり

教職員の負担感

「子どもと向き合う時間が不足」 85.7%

「勤務時間終了後も残って仕事をすることが多い」 91.8%

出典: 教職員勤務負担の状況に関する調査(H24岡山市教委学事課)

質の高い授業を行うためには、すべての子どもの学習や生活状況を把握するとともに、授業に向けた教材研究を充実させなければなりません。

その第一歩として、子どもとしっかり向き合い、授業づくりに専念できる環境づくりが必要です。

重点的に取り組む事業

授
業
改
善
の
通
向
し
上
た

【拡】『岡山っ子』学力向上推進事業

キーワード
徹底

「岡山っ子学力向上推進チーム」の新設
・全国学力・学習状況調査の分析を基にする授業改善を推進
・「いきいき学校づくり」を中心に岡山型一貫教育推進をコーディネート

授業これだけは!!

研究視点の共有化

めあて提示、考え・表現する場面・授業の振返りの設定等

まずかっとプリント

研究する姿勢の醸成

全校で実施し、誤答の分析等を授業改善に生かす

指導教諭の活躍

教員の指導力アップ

指導教諭による授業公開、自校・近隣校教員への支援

好事例に学ぶ!

学校間の切磋琢磨

小中学校の教諭、指導主事を他校・他県に派遣し、好取組を市内に広める

教育課題別研究事業

市立小中学校から研究協力校を募り、読解力・表現力等の学力向上のための指導方法等について、実践的な研究を行い、研究成果の発信と普及を図ります。

(政策2-1)

就学前教育の充実

合同研修会を開催し、岡山式カリキュラムに沿った指導方法や内容の研修及び研究協議などを保育園・幼稚園・認定こども園合同で行います。

(政策2-1)

働
き
か
け
の
た
め
の
家
庭
学
習
充
実

家庭学習事例集の活用

家庭との連携充実

家庭学習事例集を使った教員研修の実施と保護者啓発

スマホ等の使用のルール作り

家庭学習の時間確保

学校・保護者・児童生徒が話し合っルール作りをする

(政策2-1)



学
習
・
生
活
環
境
を
大
切
に
し
た
子
ど
も
一
人
一
人

習熟度別サポート事業

小学校2年生から6年生の算数や国語の授業において、10人未満の小さな集団による習熟度別授業を行ったり、家庭学習につなげるための放課後学習指導を行ったりすることで、児童一人一人の学力向上を図ります。

(政策2-1)

岡山っ子スタート・サポート事業

小学校1年生に対し、年間を通じて生活指導や学習指導に当たる教育支援員を配置し、小学校生活の円滑なスタートを切ることができるよう支援します。

(政策2-1)

学校支援ボランティア事業

学校園での教育活動及び土曜学習等地域での子どもの学力向上に係る取組を、保護者や地域住民、学生のような特技や趣味などを生かし支援します。

(政策2-2)

教
材
研
究
の
時
間
充
実
子
ど
も
と
向
き
合
う

【新】学校業務アシスト事業

教員が行っている業務(事務処理等)の一部をアシスト職員が行うことによって、教員が本来の専門性を生かした業務に専念することができるように支援します。

(政策6-3)

【新】部活動サポート事業

外部指導者を派遣することで、部活動顧問の教職員の負担(専門的な技術指導ができない、部活動の指導に時間が割かれる等)の軽減を行います。

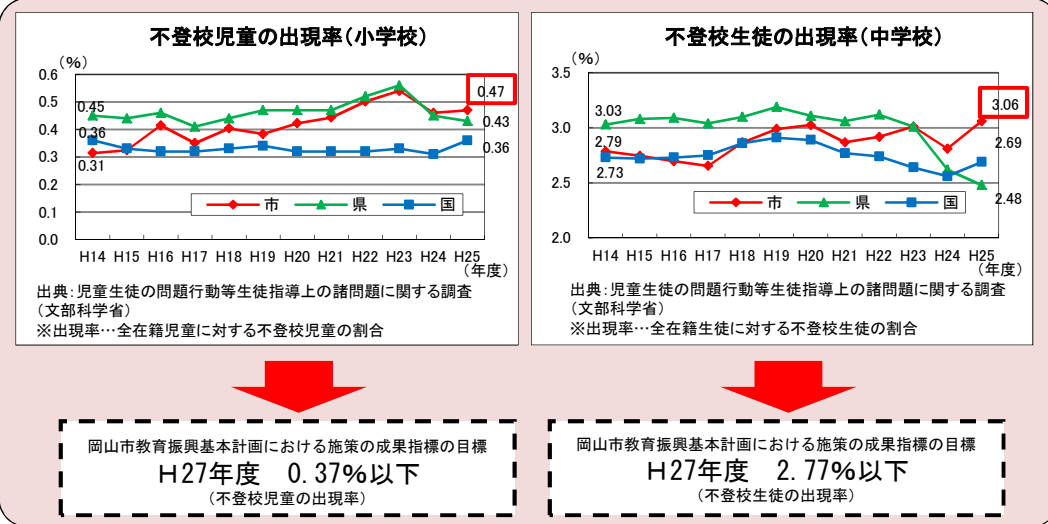
(政策6-3)

※ これらの事業については、次のテーマ「学校問題の未然防止・早期解決」にも影響しています。

II 学校問題の未然防止・早期解決

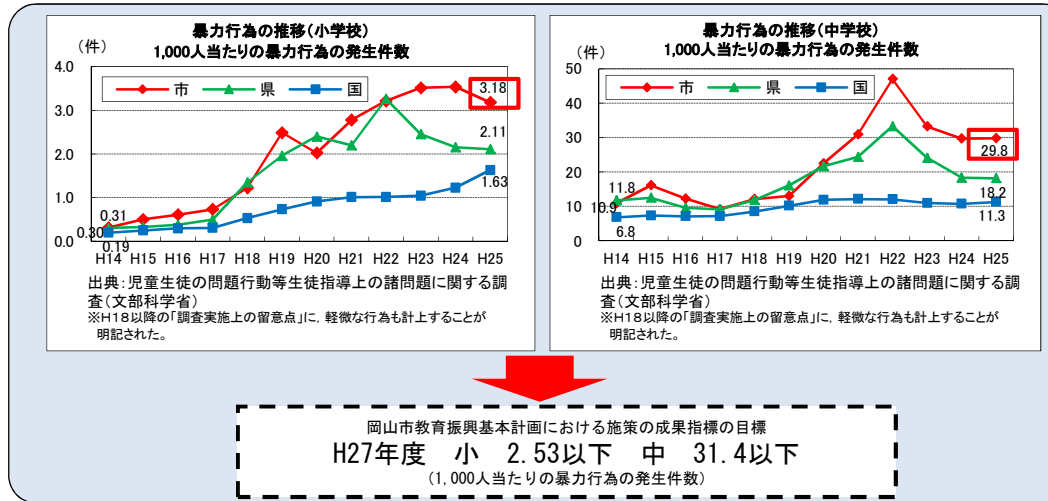
現状と課題

不登校



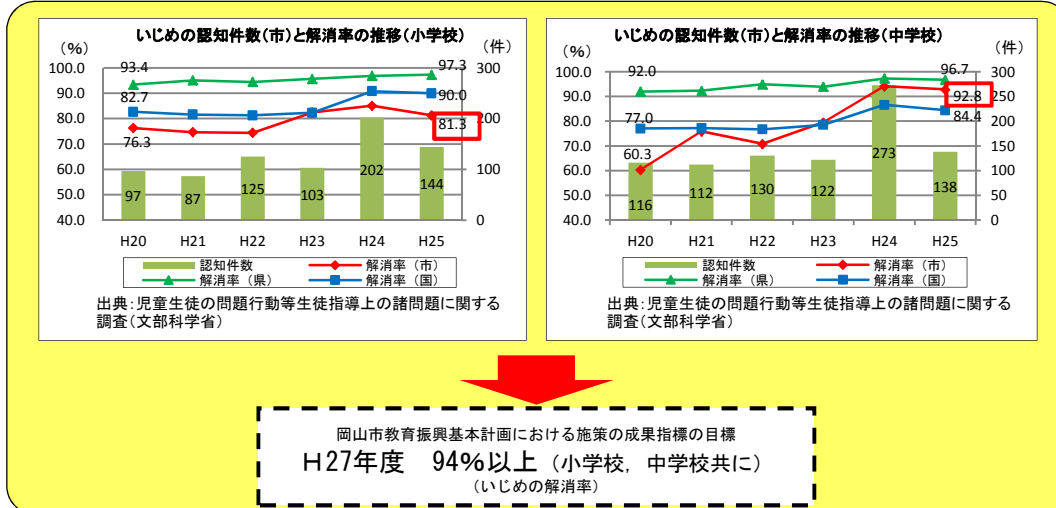
問題行動等を減少させ、学びの場を充実させるためには、「未然防止」「早期発見・早期対応」「深刻化防止」といった観点からの取組の充実とともに、

暴力行為



効果的な解決につなげるための諸問題の背景について「調査研究・検証」が必要です。

いじめ



ストップ・ザ学校問題ー学びの場充実事業ー

未然防止

共に成長し合う学級集団づくり推進事業

(政策4-1)

学級適応感を測る検査（hyper-QU, ASSESS等）を活用することで子ども理解を深め、よりよい集団づくりを行うことで、子ども同士のトラブルや問題行動等の未然防止を図ります。

早期発見・早期対応

【拡】スクールカウンセラー配置事業

(政策4-2)

臨床心理士などの心の専門家を配置し、専門的な相談支援の実施により課題を整理し、本来持っている解決力を引き出すことで、子どもやその保護者の抱えている課題の早期解決を図ります。

不登校児童生徒支援員配置事業

(政策4-2)

不登校の兆候が見られる子どもに、家庭訪問や別室登校等の支援を行うことで、登校意欲を促進し早期解決を図ります。

いじめ専門相談員派遣事業

(政策4-2)

いじめ専用ダイヤルを設置し、専門相談員によるいじめの対応に関する助言や緊急的・継続的相談支援を行い、早期発見・早期解決を図ります。

深刻化防止

学校問題解決サポート事業

(政策6-1)

解決困難な学校問題について、弁護士や精神科医師等の専門相談員による助言・支援を得ながら解決するとともに、研修等を実施し、学校の対応力の向上を図ります。

教育相談室・適応指導教室整備事業

(政策4-2)

不登校児童生徒の減少及び学校復帰、社会的自立を目指し、教育相談室・適応指導教室の体制強化を行います。

【拡】問題行動等対策事業

(政策4-2)

問題行動等対策委員会を開催し、問題行動等の要因の洗い出しや有効な対策についての審議、いじめの重大事態の調査を行います。

学びの場充実

問題行動等の減少

《問題行動等の背景》

- ・コミュニケーション力の不足
- ・人間関係調整能力の低下
- ・ストレス耐性の脆弱さ
- ・以前にはなかった解決困難な事案の増加

子ども同士の関係希薄化や子ども間のトラブルの増加

困難さを克服する力の不足

解決のために要する時間と精神的な負担の増大

調査研究・検証

Ⅲ ESDの推進

現状と課題

ESDに関するユネスコ世界会議サイドイベント(ユネスコスクール)

実践発表や実践を通じた他校や国内外のESD実践者との交流がより刺激となり、自分たちの活動の意欲がさらに高まっています。

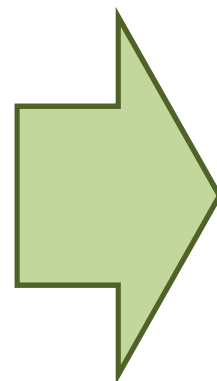
国内外の実践者などとの児童生徒の直接交流を通してつながりができました。

H23	H24	H25	H26
16校	31校	43校	51校

(ユネスコスクール加盟校+申請中校+申請準備校の累計)



継続



普及

公民館-CLC国際会議

29ヶ国約650人の方の参加があり、分科会場となった公民館では、通常の活動紹介や住民との交流もありました。

参加者全員の議論を経て、公民館-CLC※の取組が持つ、持続可能な社会づくりのための重要性と、これからやるべきことを「岡山コミットメント(約束)2014」としてまとめました。

※CLC(Community Learning Center) : アジア地域のユネスコが設置を推奨し、タイやインドネシア、ベトナムなどの諸国に設置が進んでいる地域の学習拠点で、日本の公民館に近い性格を持っています。

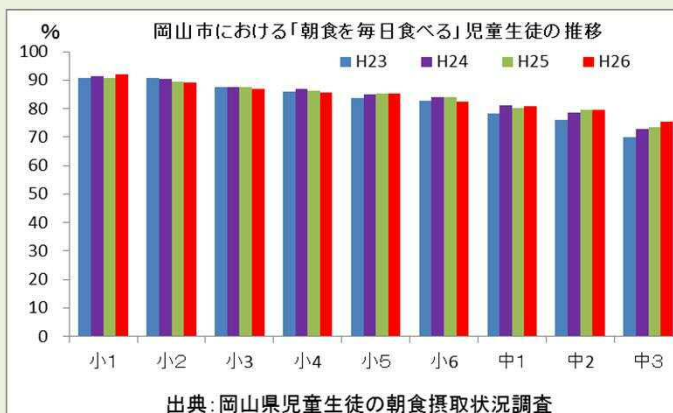


食育の推進

文部科学省から「スーパー食育スクール事業」の指定を受けた岡山市立操南中学校において、「食育による食生活の改善と学力向上」へつなげる取組を実践しました。



(食育サミットの様子)



朝食の摂取率は学年が上がるにつれて低くなっていることから、学校での食育の推進はとても重要です。各校の食育の効果として少しずつ改善もみられ、取組の継続及び家庭への啓発が必要です。

重点的に取り組む事業

ESD(持続可能な開発のための教育)とは

世界中のすべての人々が将来の世代にわたって安心して暮らせる社会を実現するために必要な知識や能力などを育成するための教育です。

学校教育でのESD

【拡】ユネスコスクール推進事業

地域と協働して行う活動や、中学校区での一貫した教育実践によって市立全校でのESDの取組の充実・発展を図ることができるよう、ESD研修会を実施します。また、ESD推進拠点であるユネスコスクール間の交流を推進します。(政策2-3)

総合的な学習の時間におけるESDの推進

ESDに関する総合的な学習の時間において、指導に役立つ情報を提供したり、年間指導計画の位置づけの在り方について研修したりして授業改善に役立てます。(政策2-2)

教育機関のESD

公民館ESD活動推進事業

ESDに関する学習機会を提供するとともに、NPO、NGOなどと協働したアジア地域のCLC関係者の受け入れにより、公民館活動を通じた国際貢献や学び合いを進めていきます。また、「共生のまちづくり」への住民理解とESD活動への参加促進に取り組み、「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」で採択された岡山コミットメント(約束)2014を具体化します。(政策5-2)

オリエント美術館特別展等の開催

独自性の高い文化コンテンツの発信により、岡山の文化水準を高めるとともに、市内外からの来館者による交流の促進を目指すために、古代エジプト、メソポタミア等のオリエント文化の特別展を開催します。また、これらを題材とした講演会やワークショップ等の開催等を通じて、私たちの暮らしとの比較、多文化理解、平和の必要性等、持続可能な社会づくりに向けた新たな「気づき」の促進を図ります。(政策1-2)

社会教育でのESD

犬島アイランドキャンプ

自然環境への関心を高め、自然の大切さを実感できるよう、夏休みに小学生を対象に2泊3日で様々な自然体験活動を行います。その活動を通して、自主性や協調性などの人間性を育てていきます。(政策1-3)

おかやまイングリッシュビレッジ事業

小学校5、6年生を対象に、イングリッシュビレッジ(英語村)に見立てた旧福谷小学校で外国人と英語でコミュニケーションを取りながら、外国文化・生活の体験や自然体験活動等を行います。英語に慣れ親しむことで英語力を向上させるとともに、自主性や協調性を育成し、国際交流や異文化への理解を深めていきます。(政策2-2)

親子環境学習サマースクール

自然環境への関心を高め、自然の循環や生物多様性に対する理解を深めていけるよう、小学校4年生から6年生の児童とその家族を対象に様々な自然体験活動を行います。(政策5-2)

食育

【新】スーパー食育スクール事業における成果の普及事業

各学校での食育の一層の充実を図るため、スーパー食育スクール事業で得られた成果を基に、身体測定機器を活用するなど、児童生徒の食への興味関心や健康意識を高め、食生活・生活習慣をよりよいものにしていきます。(政策3-2)

IV 安全・安心の教育環境づくり

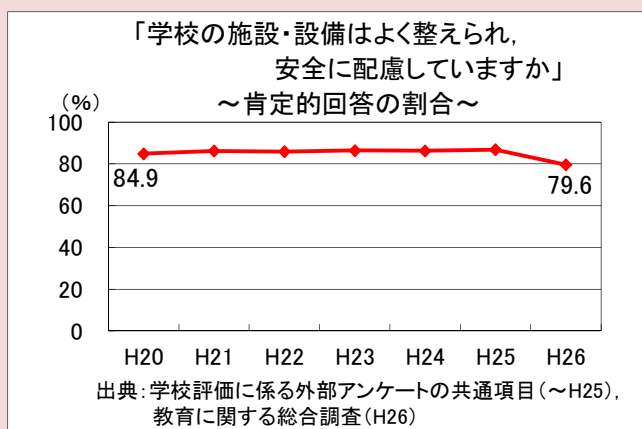
現状と課題

耐震化

児童生徒や地域住民などの生命の安全を確保するために、校舎の耐震性の確保について、重点的かつ計画的な取組を進めています。

	～H22	H23	H24	H25	H26
学校園施設全体の耐震化率(%)	耐震化診断中のため未把握	65.8	72.9	74.6	79.1

典拠資料：市教育委員会事務局学校施設課調べ



安心して学べる教育環境の整備に向け、耐震改修整備などの取組に重点的に取り組んでおり、保護者の安全に対する教育環境の満足度では約8割以上が肯定的です。

児童生徒の生命の安全を確保するためにも、また、災害時の地域の避難拠点として機能させるためにも、可能なかぎり期間を圧縮した全体計画と執行体制の強化の下、校舎の耐震化を計画的に進める必要があります。

また、市民に身近な生涯学習の場としての公民館の耐震改修整備を進める必要があります。

継続

拡充

公民館の整備

地域住民の学びの場となっている公民館について、公民館のない中学校区への新築や耐震改修等が必要となっています。

学校のICT環境の整備

ICT基盤の整備を終え、その活用に向けての授業支援ソフト・校務支援システムの導入などさらなるICT環境の整備が必要となっています。

重点的に取り組む事業

地震などの災害に備えるための整備

【拡】学校園耐震改修整備事業

大規模災害時の児童生徒の生命の危機を回避し、安全・安心な学校づくり、教育環境の向上を図るため、校舎の耐震化を推進します。

<H27年度耐震補強工事予定校>
吉備東幼
清輝小、庄内小、中山小、福田小、芳泉小
福渡小、富山小、可知小、千種小、南輝小
旭操小、彦崎小
中山中、光南台中、高松中、御南中
旭東中、福田中、上道中

<H27年度耐震改築工事予定校>
西小、西大寺小、鹿田小
操山中、岡北中、桑田中、岡輝中、瀬戸中



(政策6-3)

【拡】公民館耐震改修整備事業

市民に身近な生涯学習の場としての公民館施設61館(分館24館含む)のうち、旧耐震基準で建築された30館の耐震診断を行い、必要性の高い施設から耐震改修整備を進めます。

(政策5-2)

年度	計画
H25年度～H26年度	30館(分館16館含む)耐震診断
H27年度～H28年度	耐震診断結果による改修等の設計
H28年度～H30年度	改修工事

吉備公民館・地域センター整備事業

H27年度中の完成を目指し、吉備公民館と吉備地域センターを現地に合築により整備します。

(政策5-2)

公民館の整備

【拡】操山地区公民館建設事業

中央公民館廃止に伴い、新たに操山中学校校区に地区公民館を整備します。H26年度に用地取得と基本構想を策定し、H27年度は基本・実施設計を行います。

(政策5-2)

年度	計画
H26年度	基本構想策定
H27年度	基本・実施設計
H28年度～H29年度	用地再取得, 新築工事
H30年度	開館

学校のICT環境

【拡】ICTを基盤とする情報活用能力アップ事業

情報リテラシーを高め、情報モラルを身につける学習活動が効率的・効果的に行われるように、パソコン教室等の環境を整備します。また、校務の効率化により「教職員が子どもと向き合う時間をより多く確保」できるよう、教職員へのパソコン配備、学校ICTヘルプデスクの設置、校務支援システムの導入等を行います。校務支援システムは、今年度から成績関連機能の稼働を開始します。

(政策6-3)